

B- I -19 On-pump、Off-pump CABG が術後肺酸素化能に与える影響

大和成和病院 麻酔科
池崎 弘之 川村 豪嗣

オフポンプ CABG (offCAB) は人工心肺を使用しないため呼吸器系合併症が感覚的には少ないように思われる。今回われわれは offCAB の周術期呼吸管理に関し オンポンプ CABG (onCAB) と retrospective に比較、検討を加えた。

【方法】

2005 年 4 月から 2006 年 3 月までに行われた offCAB 症例 122 例、onCAB 症例 48 例を対象に (透析、IABP 挿入、術直後の大量胸腔内血液貯留、再開胸症例は除外) retrospective に術前心機能、術中輸液量、術後肺機能等につき検討を加えた。

【測定項目】

術前呼吸機能、術後 P/F ratio、術後人工呼吸時間、術中水分バランス、抜管までの水分バランス。

統計は Chi square test, student-t test, Repeated measures ANOVA、Bonferroni correction を用いた。

【結果】

offCAB 群：年齢 65.7 ± 9.7 才、狭心症 104 例、陳旧性心筋梗塞 14 例、術中水分バランス 10.4 ± 4.8 ml/kg/

hr、術直後 P/F ratio 265.2 ± 88.8、術後人工呼吸時間 3.8 ± 3.1 時間。onCAB 群：年齢 68.7 ± 9.4 才、狭心症 41 例、陳旧性心筋梗塞 7 例、術中水分バランス 11.2 ± 5.3 ml/kg/hr、術直後 P/F ratio 278.2 ± 122.2、術後人工呼吸時間 6.6 ± 5.4 時間であった。術後人工呼吸時間は onCAB 群で有意に長かったが、術後酸素化能には差はなく、いずれの群でも再人工呼吸管理となった症例はなかった。一方、これらの症例中、術前の呼吸機能にて %VC < 80、FEV1.0% < 70 の症例 (低呼吸機能群、offCAB 群 n=6、onCAB 群 n=5) を対象に検討すると抜管時 P/F ratio が offCAB 群：336.6 ± 65.4、onCAB 群：235.8 ± 32.6 と有意に onCAB 群で低かった。ただし、この二群間で人工呼吸時間には差はみられなかった。いずれの症例でも再挿管となった症例はなかった。

【結論】

offCAB 群、onCAB 群で術後人工呼吸時間は onCAB 群で有意に長かったが、術後の酸素化能では差がみられなかった。低呼吸機能群で、onCAB 群では offCAB 群に比べ術後酸素化能が有意に低かったが、人工呼吸時間に差がみられなかった。offCAB 群、onCAB 群の術後呼吸器管理に与える影響は少ないと考えられた。